

2021年2月10日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 坂井 庸人

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,050	26.7	251		442		1,233	
2020年3月期第3四半期	45,112	3.3	1,343	38.2	1,350	42.9	940	50.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,681百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 463百万円 ( 29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	129.12	
2020年3月期第3四半期	98.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	54,916	24,402	42.5	2,444.50
2020年3月期	56,366	26,398	44.8	2,644.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,351百万円 2020年3月期 25,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		25.00	40.00
2021年3月期		5.00			
2021年3月期(予想)				15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	25.2	400	77.9	200	88.2	800		83.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	10,200,000 株	2020年3月期	10,200,000 株
2021年3月期3Q	647,478 株	2020年3月期	647,478 株
2021年3月期3Q	9,552,522 株	2020年3月期3Q	9,552,522 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生産活動及び消費活動の歴史的な停滞の影響は大きく、消費マインドの低調さも引き続き厳しい状況で推移しました。2020年5月の政府による緊急事態宣言の解除後、経済活動が再開し、持ち直しの動きがみられますが、予断を許さない状況が続いております。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が沈静化し、経済活動が着実に回復しつつある国・地域がある一方で、引き続き未だに感染が拡大、あるいは再び拡大している国・地域もあり、今後も深刻な景気後退に見舞われるおそれのある国・地域もあります。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、各地域で持ち直しの動きが見られ、市場環境は回復傾向にあります。また、セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅設備産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や建材部品調達国の生産の回復の遅れにより、工期の遅れや工事の中断、延期等の影響を一部受けております。また、同じくセキュリティ機器事業の関連産業であります旅行・レジャー産業におきましては、政府による各種テコ入れ策はあるものの、依然新型コロナウイルス感染症の影響が残り、本格的な回復までは時間を要する状況であります。

このような事業環境の中、当社グループは引き続き従業員・関係者の安全の確保、手許資金の流動性確保、固定費の削減、サプライチェーンの確保を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は330億50百万円と前年同四半期に比べ、120億61百万円（26.7%）の減収となりました。利益につきましては、それぞれ営業損失は2億51百万円（前年同四半期は営業利益13億43百万円）、経常損失は4億42百万円（前年同四半期は経常利益13億50百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は12億33百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億40百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先での生産は回復基調にあるものの受注の落ち込みにより、売上高は50億19百万円と前年同四半期に比べ、19億35百万円（27.8%）の減収、セグメント損失は3億24百万円（前年同四半期はセグメント損失1億96百万円）となりました。

## ② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の生産が一定期間停止したこと、また、その後の生産も回復途上にあり、売上高は63億21百万円と前年同四半期に比べ、42億54百万円（40.2%）の減収、セグメント利益は38百万円と前年同四半期に比べ、4億67百万円（92.4%）の減益となりました。

## ③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、中国での主要得意先の生産はほぼ回復したものの、ASEANでの回復の遅れにより、売上高は101億99百万円と前年同四半期に比べ、41億27百万円（28.8%）の減収、セグメント利益は51百万円と前年同四半期に比べ、5億21百万円（91.1%）の減益となりました。

## ④ 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、主要得意先の生産が一定期間停止したこと、また、その後の生産も回復途上にあり、売上高は67億86百万円と前年同四半期に比べ、19億85百万円（22.6%）の減収、セグメント損失は2億57百万円（前年同四半期はセグメント損失86百万円）となりました。

## ⑤ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響からの新規住宅着工件数の継続的な減少、コインロッカーのオペレーション収入の大幅な減収等により、売上高は58億52百万円と前年同四半期に比べ、8億98百万円（13.3%）の減収、セグメント利益は5億6百万円と前年同四半期に比べ、3億87百万円（43.3%）の減益となりました。

## ⑥ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、日本および現地向け製品の生産減により、売上高は32億52百万円と前年同四半期に比べ、2億14百万円（6.2%）の減収、セグメント利益は2億54百万円と前年同四半期に比べ、25百万円（9.3%）の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は549億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ、14億50百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、12億円増加し、192億48百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が4億66百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億3百万円減少したこと等により、12億5百万円減少し、280億71百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産の投資有価証券が9億40百万円増加しましたが、有形固定資産の機械装置及び運搬具（純額）が5億80百万円減少したことや、建物及び構築物（純額）が5億7百万円減少したこと等により、2億40百万円減少し、268億32百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が2億59百万円減少しましたが、短期借入金が15億80百万円増加したこと等により、7億51百万円増加し、193億99百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が2億72百万円増加しましたが、リース債務が3億14百万円減少したこと等により、2億6百万円減少し、111億14百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が7億44百万円増加しましたが、利益剰余金が15億20百万円減少したことや、為替換算調整勘定が11億34百万円減少したこと等により、19億96百万円減少し、244億2百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の44.8%から2.3ポイント減少し、42.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきまして、2020年11月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,375	8,841
受取手形及び売掛金	11,429	11,025
商品及び製品	2,002	1,999
仕掛品	1,001	952
原材料及び貯蔵品	4,538	3,631
その他	2,114	1,797
貸倒引当金	△183	△176
流動資産合計	29,276	28,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,560	4,052
機械装置及び運搬具（純額）	6,845	6,265
工具、器具及び備品（純額）	2,510	2,437
土地	1,635	1,571
その他（純額）	4,364	4,715
有形固定資産合計	19,915	19,041
無形固定資産		
のれん	1,757	1,553
その他	1,820	1,691
無形固定資産合計	3,577	3,245
投資その他の資産		
投資有価証券	2,912	3,853
その他	666	691
投資その他の資産合計	3,579	4,545
固定資産合計	27,073	26,832
繰延資産	16	12
資産合計	56,366	54,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,089	5,830
短期借入金	7,139	8,720
未払法人税等	304	109
賞与引当金	461	401
製品保証引当金	341	339
その他	4,310	3,998
流動負債合計	18,647	19,399
固定負債		
社債	1,005	790
長期借入金	6,231	6,503
退職給付に係る負債	188	182
資産除去債務	42	42
リース債務	2,377	2,063
その他	1,476	1,531
固定負債合計	11,320	11,114
負債合計	29,968	30,513

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	17,948	16,428
自己株式	△578	△578
株主資本合計	23,082	21,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,364	2,109
為替換算調整勘定	814	△320
その他の包括利益累計額合計	2,178	1,788
非支配株主持分	1,137	1,051
純資産合計	26,398	24,402
負債純資産合計	56,366	54,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	45,112	33,050
売上原価	38,065	28,533
売上総利益	7,047	4,517
販売費及び一般管理費	5,703	4,768
営業利益又は営業損失(△)	1,343	△251
営業外収益		
受取利息	48	44
受取配当金	68	48
不動産賃貸料	15	14
助成金収入	31	247
その他	128	157
営業外収益合計	292	513
営業外費用		
支払利息	161	175
支払報酬	1	—
為替差損	80	425
その他	40	103
営業外費用合計	285	703
経常利益又は経常損失(△)	1,350	△442
特別利益		
固定資産売却益	22	18
補助金収入	—	130
特別利益合計	22	149
特別損失		
固定資産売却損	4	2
固定資産除却損	14	22
臨時損失	—	※ 813
訴訟和解金	4	4
特別損失合計	23	842
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,349	△1,135
法人税、住民税及び事業税	526	279
法人税等調整額	△117	△139
法人税等合計	408	139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	941	△1,275
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	940	△1,233



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	941	△1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323	744
為替換算調整勘定	△801	△1,150
その他の包括利益合計	△478	△405
四半期包括利益	463	△1,681
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	△1,623
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	△57

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

## (1) 連結納税制度からグループ通算制度への以降に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

## (2) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

## (3) 財務制限条項

当社は、2019年9月25日付で総額2,000百万円のシンジケートローン契約(当第3連結四半期会計年度末借入実行残高1,800百万円)及び2020年3月19日付で総額1,000百万円のコミットメントライン型シンジケートローン契約(当第3連結四半期会計年度末借入実行残高なし)を締結しており、それぞれ単体・連結純資産及び単体・連結経常利益に係る財務制限条項が付されております。

当社は、第2四半期連結累計期間の連結経常利益が一定水準を下回ったことにより、当該財務制限条項に抵触している状況にあります。金融機関からは、期限の利益喪失に関わる条項の適用を免除する旨の承諾を得ております。

(四半期連結損益計算書関係)

## ※ 臨時損失

当社グループの中国・北米・アジアの連結子会社の一部及び自動車部品事業（日本）において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした各国政府等の要請に基づき、各拠点の操業停止を実施した期間及び操業時間を短縮した期間に該当する固定費部分を臨時損失として組替計上したものであります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	5,040	10,406	13,738	8,486	6,730	710	45,112	—	45,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,914	169	588	285	20	2,756	5,734	△5,734	—
計	6,954	10,575	14,326	8,772	6,750	3,466	50,846	△5,734	45,112
セグメント利益又は損失(△)	△196	505	572	△86	894	280	1,971	△627	1,343

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△674百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,721	6,246	9,888	6,588	5,835	770	33,050	—	33,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,298	74	310	198	17	2,481	4,380	△4,380	—
計	5,019	6,321	10,199	6,786	5,852	3,252	37,431	△4,380	33,050
セグメント利益又は損失(△)	△324	38	51	△257	506	254	268	△519	△251

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。